



メールマガジン「ユニバーサルひょうご通信」第148号
発行:兵庫県ユニバーサル推進課 令和4年12月9日



【今月のピックアップ!】

- ① 兵庫県版「コミュニケーション支援ボード」を活用しましょう

- ② 障害者が作るお菓子コンテスト「第14回ひょうごスウィーツ甲子園」～栄えあるグランプリは「抹茶クッキー」～

【手話カフェ】

- ③ 年末年始をどう過ごす?

【イベント・募集】

- ④ ★音声ガイド付公演
兵庫県立ピッコロ劇団ファミリー劇場「飛んで孫悟空」

- ⑤ ひょうごふるさと寄附金を募集しています
「課題を抱える妊産婦支援プロジェクト」「障害児応援プロジェクト」「障害者スポーツ」「小児筋電義手」

- ⑥ 「兵庫県障害者芸術・文化祭 美術工芸作品公募展」の
作品募集 (出品の申込 1/23まで)

- ⑦ パラスポーツ絵画展2022作品募集中

【お知らせ】

- ⑧ 「兵庫県障害者アートギャラリー」12月の催し



-
- ① 兵庫県版「コミュニケーション支援ボード」を活用しましょう

聴覚障害、言語障害、知的障害のある方、高齢の方、外国人の方などの中には、日常生活の中で、話し言葉でうまく意思や状況を伝えられず、コミュニケーションに不安を感じている方がおられます。そこで、兵庫県では、話し言葉によるコミュニケーションにバリアのある人たちと周囲の人たちとの間をつなぐため、「コミュニケーション支援ボード」を用意し、県庁の窓口をはじめ、地域のさまざまな場所に設置することで、コミュニケーションのバリアフリーを目指しているところです。

言葉でうまく伝え合えない時、コミュニケーション支援ボードを差し出し、イラストを指さして使います。使い方の詳細は「コミュニケーション支援ボード活用の手引き」をご確認ください。
コミュニケーション支援ボードは、兵庫県 HP からご自由にダウンロードいただけますので、みなさんの職場の窓口でもぜひご活用ください。

■コミュニケーション支援ボードの詳細

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/communicationboard.html>

② 障害者が作るお菓子コンテスト「第14回ひょうごスウィーツ甲子園」～栄えあるグランプリは「抹茶クッキー」～

障害者が作るお菓子のコンテスト「スウィーツ甲子園」を11月8日に開催しました。各事業所によるプレゼンテーションを踏まえ、各方面の専門家から味や原材料、パッケージデザイン等、様々な観点から評価とアドバイスをいただきました。

栄えある第14回のグランプリに輝いたのは、社会福祉法人いたみ杉の子の障害福祉サービス事業所「ゆうゆうお菓子工房 lien (リアン)」が製作した「抹茶クッキー」です。

伊丹市の日本茶専門店の抹茶(若竹)を使用し、事業所の利用者が心を込めて手作りで焼き上げています。口当たりの良いソフトクッキーで、香り豊かな抹茶の風味を損なわないようラッピングにも工夫しています。他のエントリー商品も含めて、ぜひご賞味ください。

■他のエントリー商品やコンテスト詳細は、こちらをご覧ください。
https://web.pref.hyogo.lg.jp/press/documents/20221118_11766_1.pdf

③【手話カフェ】 年未年始をどう過ごす？

冬休み、クリスマス、お正月……年未年始は休暇や楽しいイベントがいろいろとありますね。この2～3年はコロナのために、旅行や帰省などがしにくい状況が続きましたが、年未年始の休暇は、家族と一緒にのんびり…という過ごし方も根強くあるのではないのでしょうか。

個人的な体験ですが、手話を生活言語としている友人と話しているとき「お正月は誰と会う？」と聞かれて少し戸惑ったことがあります。お正月は、せっかくのお休みなのでゆっくり自宅で過ごし、両親や子どもたちとも一緒にのんびり楽しもうと思っていたので、わざわざ誰かと会うということは考えていなかったからです。

「のんびりと気が置けない人と一緒に過ごし、会話楽しむ」というのはリラックスしたコミュニケーションをのぞんでいるということですね。私の友人は、両親や子どもと一緒に暮らしていましたが、友人以外はみんな耳が聞こえる人でした。つまり、自宅に手話で流ちょうに話せる人はいなかったので、友人にとって家庭は「のんびりコミュニケーションができる」場所ではないのです。

家族の口形や身振りを見て頑張って声を出して会話したり、みんなが楽しそうに笑っていても、何の話かわからなかったりして、仕事に行っているときと同じように、耳の聞こえる人に合わせて気を遣う状態が続くのですね。大晦日や元旦を過ごしたあとは、

お休みの間に思いっきり手話で話せる友人と会うことが楽しみだったのです。だから、そういう意味であなたは誰と会う？と聞いたんだなと思いました。

ご高齢の方からは、次のような話を聞いたことがあります。ろう学校(現在:聴覚特別支援学校)は、県内各地から通うのは遠いので寄宿舎がありました。子どもたちは、授業中は手話を使うことが禁じられていましたが、寄宿舎では幼い子から高等部の子まで一緒に過ごし、自然と手話を身につけて会話していました。

年末年始になるとお迎えが来たり、自分で帰省したりするのですが、家に帰っても誰も手話ができないので、家族に会ってうれしいのは一時のことで、みんながお正月で楽しくしているのに、自分だけ入れず、寂しい思いをした。休みが終わって寄宿舎に戻り、みんなと手話で話せるのがうれしかったという話です。

人はコミュニケーションが癒しや喜びにつながり、コミュニケーションを通して学び育っているんですね。耳が聞こえない・聞こえにくい人もビデオ通話ができる時代になり、離れていても手話で話せるようにはなってきましたが、周りにいる人が少しずつ手話という言葉をもっと共有してお互いに直接会話できる喜びを感じてほしいなと思います。新しい年が皆様にとって手話との出会いにつながる年になることを願っています。

兵庫県設置手話通訳者

■「手話カフェ総集編」もぜひどうぞ！

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/universal/shuwa_cafe1.html

④ ★音声ガイド付公演

兵庫県立ピッコロ劇団ファミリー劇場「飛んで孫悟空」

ピッコロ劇団のクリスマス公演では、視覚障害者の方にも舞台を楽しんでいただけるよう、舞台上の風景や登場人物の動き、表情などをピッコロ劇団員の吉江麻樹さんがライブで音声解説しま

す。ものがたりは、歌とダンスがあり、ユニークな人物が登場する楽しいお芝居です。音声ガイドからの解説による臨場感あふれる舞台の雰囲気をどうぞお楽しみください。

■公演

兵庫県立ピッコロ劇団ファミリー劇場

「飛んで 孫悟空」

作:別役実 演出:平井久美子 音楽:橋本剛

◇ものがたり

シルクロードをめざすツアー客の前にやって来たのは、はるか昔天竺へ旅に出たはずのあの三蔵法師…と、そのお供たち！？しかし孫悟空も猪八戒も沙悟浄も、当の三蔵法師までもが全くやる気がみえない。ツアー客に励まされてなんとか天竺への旅に出ようとするが、行く手をさえぎる賊や妖怪たちまで現れて…。どうしようもない一行は、どうしようもないなりに、困難をくぐり抜けて行こうとするのだが…。

現代と過去が入りまじり、奇想天外な冒険の旅がはじまる！

◇公演日程 2022年12月24日(土)15時～

12月25日(土)15時～

★音声ガイドサービスあり(事前予約要)

◇会場 兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町 2-22

阪急神戸線「西宮北口」駅南改札出てデッキで直結

◇料金 一般 3,000 円、高校生以下 1,500 円、

セット券 4,000 円

※音声ガイド機器貸出無料、介助者1名まで入場無料

■お申し込み・お問合せ先

必要事項〔①予約者氏名 ②電話番号・住所 ③連絡先(FAX・メ

ールアドレス) ④チケット種別・枚数]を記載し、タイトルを「音声ガイド」にして、下記までお申し込みください。電話予約可。

◇ピッコロ劇団 鑑賞サポート担当 (担当:古川・新倉)

電話 06-6426-1940 FAX06-6426-1943

メール:theater@hyogo-arts.or.jp

■公演詳細はこちら

<https://piccolo-theater.jp/event/13440/>

⑤ ひょうごふるさと寄附金を募集しています

「課題を抱える妊産婦支援プロジェクト」「障害児応援プロジェクト」「障害者スポーツ」「小児筋電義手」

兵庫県のふるさと納税「ふるさとひょうご寄附金」のうち、妊産婦の支援と障害者の社会参加を支援する3つのプロジェクトをご紹介します。

■課題を抱える妊産婦支援プロジェクト

予期せぬ妊娠などにより孤立し、経済的に苦しく、住む場所もないなど課題を抱える妊産婦を応援するプロジェクトを展開します。皆さまの寄附により次の支援を行います。

- ・出産に要する費用を支援
- ・資格取得などに要する費用を支援
- ・自立生活を始める際の準備費用を支援
- ・実家のように頼れる妊産婦ホストファミリーの実施

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf12/kadaikakaeru_ni_nsanpu.html

■障害児応援プロジェクト

障害の状態によって家庭ではなく施設で暮している障害児がいます。施設に入所する障害児は、日々、施設内での集団生活を行っており、様々な経験・体験をする機会が限られています。

本プロジェクトは、障害児の発達や情緒の形成に寄与するスポーツ競技用具や積み木などの知育玩具・遊具の購入費、動物園や遊園地などでのレクリエーション活動経費を助成することで、子どもたちに“新たな経験”を届けるための支援を行います。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/syougaijiouenproject.html>

■障害者スポーツ応援プロジェクト

自らの障害を乗り越え、スポーツに打ち込む、輝く障害者アスリートに応援します。いただいた寄附金は次のことに活用します。

- ・障害者アスリートの練習場所の確保の支援
- ・専門コーチによる競技指導・実技指導
- ・障害者スポーツ用具の購入支援など

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/zeitemplate.html>

■小児筋電義手バンクへの応援プロジェクト

筋電義手(きんでんぎしゅ)とは、筋肉が収縮するときに生じる微量の筋電位を利用して、本人の意思で指を動かせる電動の義手です。筋電義手は、お茶碗を持ってお箸で食べる、紙を持ってハサミで切るなどの両手での動作を可能にし、体のバランスを整えるなど、こどもの成長過程で様々な利点があります。

皆さまからの寄附により、事故や病気などによって手を失ってしまったこども達へ訓練用筋電義手の確保・貸出等を行います。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/bank.html>

■兵庫県のふるさと納税「ふるさとひょうご寄附金」全般についてはこちら

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/ac02/kihu01.html>

⑥「兵庫県障害者芸術・文化祭 美術工芸作品公募展」の
作品募集（出品の申込 1/23まで）

第18回兵庫県障害者芸術・文化祭 美術工芸作品公募展を令和5年3月に開催します。そこで、公募展で展示する作品を募集しますので、出品を希望される方は、令和5年1月23日までに県ユニバーサル推進課へお申し込みください。

◇開催期間 令和5年3月3日(金)～3月5日(日)

◇会場 兵庫県立美術館 ギャラリー棟3階 ギャラリー
(神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1)

◇募集作品 絵画、書道、写真、工芸・その他(彫塑、立体作品、CGアート等) ※ 手芸、魚拓、珍木、盆石は除く。

◇応募資格 県内に在住する障害のある方

■応募方法

募集要項をお読みいただき、申込書を県ユニバーサル推進課へ令和5年1月23日(月)までにご提出ください。福祉施設入所者及び学校等通学者(児)は、それぞれの所属でまとめて、出品の申し込みをしてください。

◇募集要項・申込書はこちら

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/hw20_000000009.html

■お問合せ

ひょうご障害者芸術文化活動支援センター
(兵庫県福祉部ユニバーサル推進課内)

TEL 078-362-4090 FAX 078-362-9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp

⑦ パラスポーツ絵画展2022作品募集中

障害のある人への県民の理解を促進するため、「パラスポーツ絵画」を募集中です。たくさんのご応募、お待ちしております。

◇部門 幼児小学生の部／中学生の部／高校生の部／一般の部

◇表彰 (公財)兵庫県障害者スポーツ協会長賞、神戸市長賞、
神戸新聞社賞、(公財)木口福祉財団理事長賞

◇作品 サイズ(最大 A1:594mm×841mm)、描き方自由、個人でも共同制作でも可

◇募集期間 募集中～令和5年1月15日(日)

◇応募方法 作品の裏に、住所、電話番号、氏名(フリガナ)、年齢(学年)、所属、作品タイトルを記入。

◇審査結果 令和5年2月10日

HP で公開 <http://hyogo-ssnet.com>

◇表彰式 令和5年3月上旬

※新型コロナウイルス感染症の感染状況で郵送となる場合あり

◇応募先

〒651-2181神戸市西区曙町1070 障害者スポーツ交流館

TEL 078-927-2727 FAX 078-927-8022

Mail kouryukan@hwc.or.jp

■お問合せ

(公財)兵庫県障害者スポーツ協会

(兵庫県ユニバーサル推進課内)

TEL 078-362-3280 FAX 078-362-9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp

■詳細

<http://Hyogo-ssnet.com>

⑧ 「兵庫県障害者アートギャラリー」12月の催し

神戸市灘区の県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」内に
ある「兵庫県障害者アートギャラリー」では、12月 25日(日)まで
「太陽の郷 陽ノヒカリ展～にじいろせかい～」を開催しています。

制作に1年以上を費やした巨大なちぎり絵「サグラダファミリア」
など、作り手の集中力を感じさせる素晴らしい作品が展示されて
います。

描かれた「街」の始まりはどこだろう、なんでこの素材を選んだ
のだろうと想像を膨らませていると、時間があっという間に過ぎ
てしまいます。細部まで作りこまれた迫力ある華やかな作品をど
うぞご鑑賞ください。

■「太陽の郷 陽ノヒカリ展～にじいろせかい～」

と き 開催中～12月25日(日) 10時～18時まで

※年末の開館日変更に伴い、会期が変わりました。

ところ 兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー本館1階
(神戸市灘区原田通 3-8-30)

■令和5年1月12日(木)～つむぐ学舎 こづかやま laboratory

「しないシナイ」が「したのシタノ」展を開催します。

<https://hyogo-arts.or.jp/harada/exhibition/#2438>

■お問合せ

ひょうご障害者芸術文化活動支援センター

(兵庫県ユニバーサル推進課内)

TEL 078-362-4090 FAX 078-362-9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp

【編集・発行】

イベント情報や、メルマガの配信希望・中止等のご連絡は以下まで

兵庫県福祉部ユニバーサル推進課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp
